

イスコチン[®] を服用される患者さんへ

監修：東北大学 加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門 教授 渡辺 彰 先生
日本結核病学会理事長

イスコチンの服用中は、「ヒスチジン」、「チラミン」が多く含まれる食品を控えるようにしましょう。

それはなぜですか？

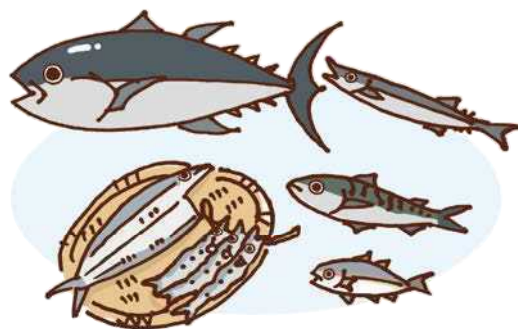
イスコチンを服用中にヒスチジンやチラミンが多く含まれる食品を食べると、ごくまれに次のような症状があらわれることがあるからです。

顔のほてり・紅潮、頭痛、吐き気、発疹、かゆみ、発汗、動悸、血圧上昇



どんな食品に多く含まれているのですか？

○ヒスチジンはマグロ、ブリ、ハマチ、サバ、アジ、サンマ、イワシなどの青魚や、干物に多く含まれます。



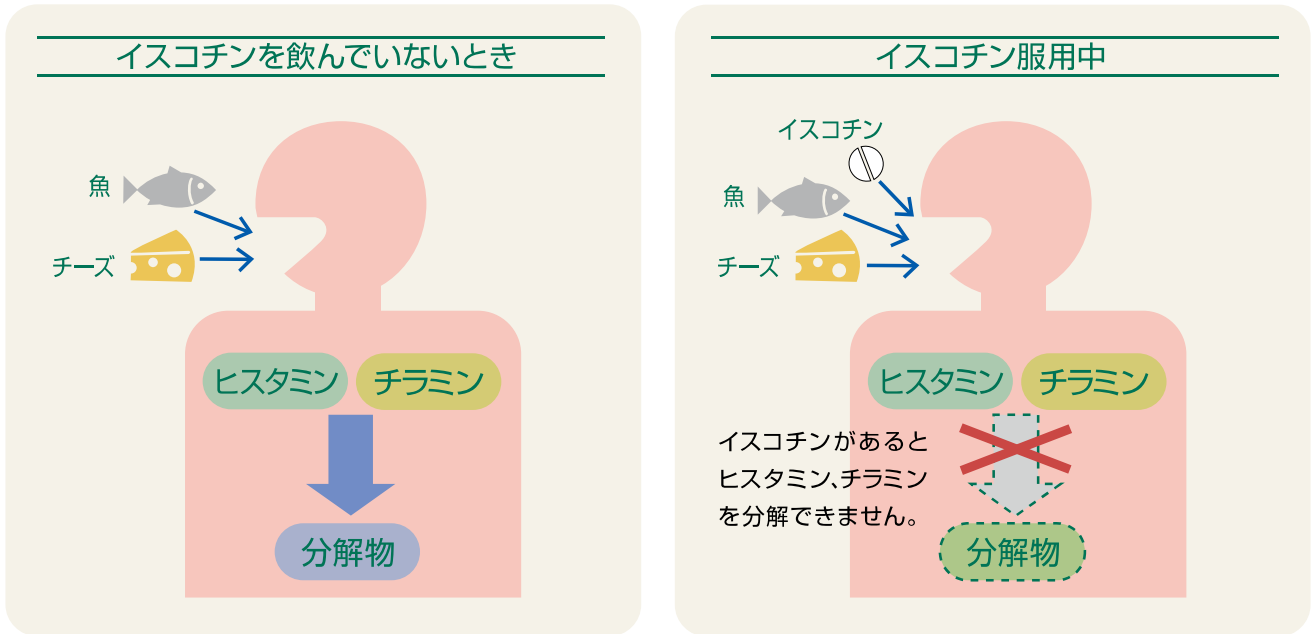
○チラミンは熟成したチーズ（カマンベール、チェダー、ゴーダ、ブルーなど）、サラミ、レバー、ニシン塩漬け、ビール、ワインなどに多く含まれます。



.....なぜ顔のほてりなどの症状があらわれるのですか？.....

ヒスチジンからできるヒスタミン、あるいはチラミンには、顔のほてり、頭痛、動悸などを起こす作用があります。

普段はヒスタミンやチラミンが多く含まれる食品を食べてもこのような症状が起こることはほとんどありません。からだの中に入ったヒスタミンやチラミンは酵素によって分解されてしまうからです。イスコチン服用中は、薬の成分がヒスタミンやチラミンを分解する酵素の働きを邪魔してしまうので、ヒスタミンやチラミンがからだの中にたまってしまい、このような症状があらわれることがあるのです。



.....どうすればよいですか？.....

○ 魚に含まれるヒスチジンは、鮮度の低下とともにヒスタミンに変化します。そのため、新鮮な魚肉中にはヒスタミンはほとんど存在しません。イスコチン服用中は、マグロやブリ、ハマチなどヒスチジンが多く含まれる食品は新鮮なものを食べるようにしてください。また、食べ過ぎないようにしましょう。

○ チラミンは食品ごとに含まれる量が異なります。チラミンが多く含まれる熟成したチーズやサラミなどの燻製食品を大量に食べることは控えるようにしましょう。

.....他に注意すべきことはありますか？.....

イスコチンを服用中に、からだのだるい、皮膚や白目が黄色くなる、食欲不振、発疹などの症状や、これ以外にも気になる症状がありましたら、必ず医師または薬剤師にご相談ください。

《施設名》